

国内外の重要課題への対応について

1. 第4期基本計画期間中の取組実施状況

○ 第4期基本計画では、我が国の将来にわたる成長と社会の発展を実現するための主要な柱として、以下の3つを設定。

- ① 「**震災からの復興、再生**の実現」
- ② 環境・エネルギーを対象とする「**グリーンイノベーション**の推進」
- ③ 医療・介護・健康を対象とする「**ライフイノベーション**の推進」

※ その他の重要課題として、「安全かつ豊かで質の高い国民生活の実現」「我が国の産業競争力の強化」「地球規模の問題解決への貢献」「国家存立の基盤の保持」「科学技術の共通基盤の充実、強化」が挙げられている。

○ 科学技術イノベーション総合戦略2014では、科学技術イノベーションが取り組むべき課題として5つを設定。

- ① クリーンで経済的な**エネルギー**システムの実現
- ② 国際社会の先駆けとなる**健康長寿**社会の実現
- ③ 世界に先駆けた**次世代インフラ**の構築（注：2013年版は、世界に先駆けた次世代インフラの整備）
- ④ **地域資源**を活用した新産業の実現（注：2013年版は、地域資源を‘強み’とした地域の再生）
- ⑤ 東日本大震災からの早期の**復興再生**

総合科学技術・イノベーション会議は、5つの課題の解決に向けて、以下の取組を実施

- 
- ✓ 予算戦略会議による資源配分の最適化の主導（SIPを軸に、それを補完し相乗効果をもたらす施策群、府省一体で取組が必要な施策群、分野横断技術を、アクションプラン対象施策として特定）
 - ✓ 時間軸と目標を明確にした詳細工程表の策定、詳細工程表に基づくPDCAの強化

2. 基本的考え方

- 科学技術イノベーション総合戦略で規定されている**5つの課題については、いずれも我が国が直面する重要な課題**であり、今後もこれらの課題解決に向けた研究開発を、時間軸と目標を明確に定めた工程表に基づき**着実に推進することが重要**ではないか。
- また、総合戦略では、ICTを課題解決のための「分野横断技術」と位置付けて推進することとしているが、技術の発展とそれに伴う社会経済の状況・変化等を踏まえると、「**ICTの急速な発展がもたらす変化への対応**」を、**早急に取り組むべき新たな課題と認識し、迅速に対応していく**ことが必要ではないか。
〔 更に、このほか、科学技術イノベーションが対応すべき国内外の重要課題として挙げられるものはあるか。 〕
- 加えて、国の持続可能な成長と安全保障の基盤となる基幹技術について、「コア技術(群)」と命名し、国主導の中長期戦略の下で研究開発を実施。

※ なお、ICTの急速な発展がもたらす変化への対応の重要性を補足するものとして、例えば、以下のようなデータや委員指摘がある。

- ・第4期基本計画策定の際から大きく変化があったのはICTの更なる発展と社会への浸透。
- ・専門家アンケートの結果によれば、2050年までを視野に入れた課題の中で、ICT分野の重要度が高いとの回答。【P12】
- ・ICT技術の急速な発展とインターネットや携帯電話・スマートフォンの爆発的普及により、世界のほとんどのヒトが常にネットワークで繋がる状況になりつつある。更に、IoT (Internet of Things)の進化により、様々な「モノ」も常時ネットワークで繋がりはじめている。【P23～P31】
- ・国際的なデジタルデータ量は飛躍的に増大している。【P29】
- ・社会の姿が、情報化社会からまた次のフェーズに移りつつある。これまでは、情報を制する者が経済を制する社会であったが、一定の情報については一般国民誰でも知り得る状況となり、何か新しい「コト」を生み出さなければグローバルの世界では生き残っていくことはできない。
- ・これからはインタラクションやコミュニケーションの時代であり、情報と人間とのインタラクションが付加価値を生んでいる。この中にイノベーションや新たな産業の芽がある。
- ・世界の情報セキュリティ上の脅威は着実に増加。【P55】
- ・主要国と比較して、ICTに関連する投資、人材量、国際競争力はいずれも低い状況。【P37,43～45,86～89】